

入院診療計画書(気管支鏡一泊入院)

ID番号 @PATIENTID 氏名 @PATIENTNAME 様 症状 @PATIENTWARD 病棟 @PATIENTROOM 号室
 担当医師 @USERNAME 印 担当看護師 担当薬剤師 @SYSDATE

月日	／ (気管支鏡検査当日)		／
経過	入院  検査前	検査後	検査後1日目 退院 
目標	検査内容を理解し、心身ともに安心して検査を受けられる。	検査後の安静を守ることができる。	退院することができる。
検査	<ul style="list-style-type: none"> 痰の検査をおこないます。 レントゲン室または呼吸器内科外来で、気管支鏡の検査を行います。 		レントゲン検査をします。その結果で退院の許可が出ます。 
処置	検査前の処置は、呼吸器内科外来で行います（「気管支鏡検査を受けられる患者さまへ」パンフレット参照）。 1. 気管支鏡がスムーズに喉を通るように、吸入を行います。 2. 落ち着いて検査を受けられるよう、肩に注射をします。 3. 医師がスプレーを使って、喉の奥に麻酔をします。麻酔終了後、レントゲン室で検査の方は移動します。		
観察	<ul style="list-style-type: none"> 検査前に、病室で熱や脈拍、血圧、体の中の酸素量を測ります。 検査中は、血圧や酸素の状態を確認する器械を付けます。 	検査終了後は、ナース・ステーション内処置室で休んでいただきます。血圧・脈拍、酸素量を測る器械をつけながら1時間くらい経過をみた後、病室へ戻ります。 	朝、体温・血圧・脈・酸素量などを測定します。 
注射	検査内容によっては、検査前に点滴をします。 	検査2時間後、問題がなければ点滴を抜きます。	
内服	朝の薬は制限ありません。いつも飲んでいる薬があれば内服してください。 	検査2時間後飲食の許可があれば、いつも飲んでいる薬を内服してください。	退院後の外来受診日前に次の様な症状がある時は、下記に連絡後早めの受診をお願いします。 ※38.0℃以上の熱が3日以上続く時。 ※突然の胸痛やひどい咳がある時。 ※血痰が続いたり、呼吸困難がある時。 【昼間】 呼吸器内科外来 024-547-1219 【夜間】 7階西病棟（呼吸器内科） 024-547-1621
食事	<ul style="list-style-type: none"> 朝食はいつも通りに食べて構いません。その後は何も食べないでお待ち下さい。 水分（水やお茶、スポーツドリンクなど）は、午前11時まで飲んで構いません。それ以降は何も飲まないでお待ちください。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査後2時間は何も口にできません。 検査後2時間が経過したら、看護師見守りのもと水分を摂取します。むせりがなければ飲食ができます。 	
行動	<ul style="list-style-type: none"> 検査に行く前にトイレを済ませてください。 入れ歯がある方は外してください。 ボタンや金具のついた服は着用せず、病衣を着用してください。 湿布やカイロも外してください。 	<ul style="list-style-type: none"> 検査終了後から病棟に戻ってくるまでは車椅子で移動します。 検査後1時間はナース・ステーション内のベッドに横になって休んでいただきます。眠気が覚めたらトイレなどに歩くことができます。 	
説明	看護師から入院生活と気管支鏡検査についての説明があります。 	37.0℃台の微熱が出ることや、血液の混じった痰が見られることがあります。通常は自然に治まりますが、確認のため看護師にお知らせください。	退院後の外来受診日の予約票をお渡しします。  お大事に！

注1) 病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
 注2) 入院期間については現時点で予想されるものです。

特別な栄養管理の必要性	有	無
-------------	---	---

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名：	続柄：
-----	-----